

# 第3回水中遺跡調査検討委員会

## 松浦市における 水中遺跡の保護の取り組みについて

月	日	平成26年1月23日(木)
会	場	文化庁特別会議室
発	表	長崎県松浦市教育委員会 文化財課長 中田 敦之

# 1. 1274年（文永11・至元11）文永の役

## ・元軍の構成（文献史料による）

元軍（蒙古人・女真人・金の治下にあった漢人など）	20,000人
高麗軍（高麗人）	6,000人
計	26,000人

軍船900隻（戦艦・上陸用舟艇・給水船各300）

## ・元軍の進路

- 10月3日 高麗合浦出発
- 10月5日 対馬に襲来・・・・・・・・・・守護代宗助(資)国80騎で戦う
- 10月14日 壱岐に襲来・・・・・・・・・・守護代平景隆100余騎で戦う
- 10月16・17日 平戸・鷹島など松浦沿岸を襲う・・・・・・・・松浦党戦う  
「松浦党ハ数百人打レ、或ハ生取ニセラレシカ」  
「平戸、能古、鷹島辺の男女多く捕らわる、松浦党敗北す」
- 10月19日 博多上陸・・・・・・・・・・鎮西奉行少貳資能・少貳経資親子率いる日本軍(約5,000人)と激戦  
集団戦法・兵器に悩まされる
- 10月21日 博多湾より撤退・・・・・・・・混成軍のため指揮者に確執  
士気が低い 矢が尽きる  
渡洋遠征に不慣れ  
元軍の戦力と国力の差を見せつける目的

## 2. 1281年（弘安4・至元18） 弘安の役

### ・元軍

[東路軍]（蒙古人・漢人・高麗人）	40,000人	軍船	900隻
[江南軍]（旧南宋人）	100,000人	軍船	3,500隻
	計	計	4,400隻

### ・東路軍の進路

- 5月3日 高麗合浦出発 6月中旬壱岐付近で江南軍と合流予定
- 5月21日 対馬に襲来
- 5月26日 壱岐に襲来
- 6月6日～9日 博多湾に攻める 志賀島合戦 上陸失敗  
日本軍・・・・・鎮西奉行 少弐資能・少弐同経資・肥後の  
守護代少弐同景資親子等率いる日本軍（約  
40,000人）と激戦  
豊後・筑後国守護 大友頼康  
薩摩国守護 島津久経  
肥後国守護代 安達盛宗 御家人竹崎季長
- 6月13日 壱岐へ撤退
- 6月29・7月2日 日本軍と激戦

・ 江南軍の進路

- 6月中旬 先発隊慶元(現在の寧波)出発
- 6月18日 本隊が慶元出発(総司令官の交替で遅れる)
- 6月24日 先発隊東路軍と対馬で合流
- 6月29日 壱岐瀬戸浦で日本軍と激戦
- 7月2日 壱岐で合戦
- 7月7日頃 江南軍本隊と東路軍が平戸島付近で合流
- 7月27日 東路軍・江南軍が平戸島付近から鷹島へ移動

7月30日～閏7月1日

暴風雨が元軍を襲う・・・大船団は沈没や座礁、溺死体漂う

閏7月5～7日 鷹島で残敵掃討戦『蒙古襲来絵詞』

鷹島・・・対馬小太郎の墓・兵衛次郎の墓

石田五郎為治の墓・西牟田弥五郎の墓

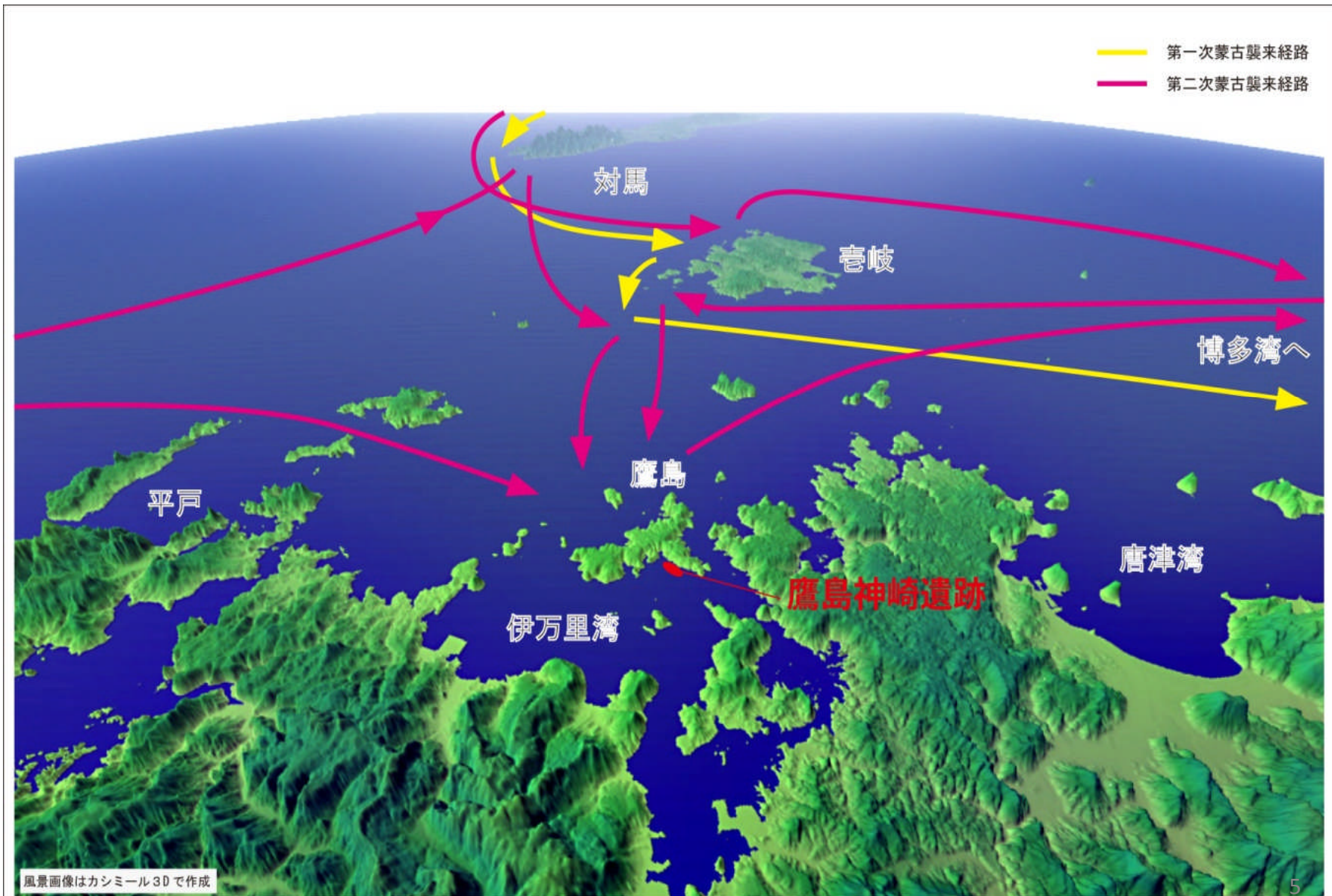
少弐景資の陣屋跡(龍面庵)

壺、刀剣、碇石などの引き揚げ

「管軍総把印」の採集

「鷹島の銅造如来坐像」の引き揚げ

### 3. 弘安の役での元軍の進路



# 4. 長崎県松浦市位置図



## 5. 埋蔵文化財と文化財保護法

- 埋蔵文化財

  - 土地に埋蔵されている文化財

  - 全国に約 4 6 万か所

- 水中遺跡

  - 海底・湖底・川底など水中にある遺跡や遺物を調査

  - 研究する考古学の研究分野のひとつ

  - 全国に 2 1 6 か所（文化庁 2000年報告）

  - 全国に 5 1 2 か所（文化庁 2012年調査）

  - 発掘調査は基本的に陸上の遺跡と同じ

- 文化財保護法

- 遺失物法

## 6. 発掘調査の目的と性格

### ①把握と周知

分布調査、試掘調査、確認調査、学術調査

### ②調整

試掘調査、確認調査

### ③保存

保存目的調査

緊急調査（記録保存調査）

### ④活用と公開

国民共有の財産



# 7. 昭和55～57年度学術調査(科学研究費) 鷹島海底遺跡の範囲



## 8. 鷹島3大プロジェクト



## 9. 鷹島海底遺跡の調査(科研費と鷹島町)

- 昭和55～57年度 文部省科学研究費特定研究「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」(研究代表者：江上波夫)の分担研究「水中考古学に関する基礎的研究」(研究代表者：茂在寅男)が組織され、鷹島周辺海域で調査実施(音波探査機器の導入と海底地層調査、潜水調査)
- 昭和56年7月 鷹島の南海岸延長約7.5kmの沖合い200mを周知の遺跡
- 昭和58・平成元・4年度 床浪港防波堤・護岸建設工事に伴う緊急調査
- 平成元～3年度 科学研究費補助金(総合研究A)「鷹島海底における元寇関連遺跡の調査・研究・保存方法に関する基礎的研究」(研究代表者：西谷正)による鷹島周辺海域での調査実施
- 平成元～3年度 文化庁委託事業
- 平成6・7年度 鷹島神崎港改修工事に伴う緊急調査・・・木製碇出土
- 平成4～17年度 鷹島町による分布・確認調査
- 平成12～14年度 神崎港改修工事に伴う緊急調査・・・甕類、漆器類、船材類などが大量出土

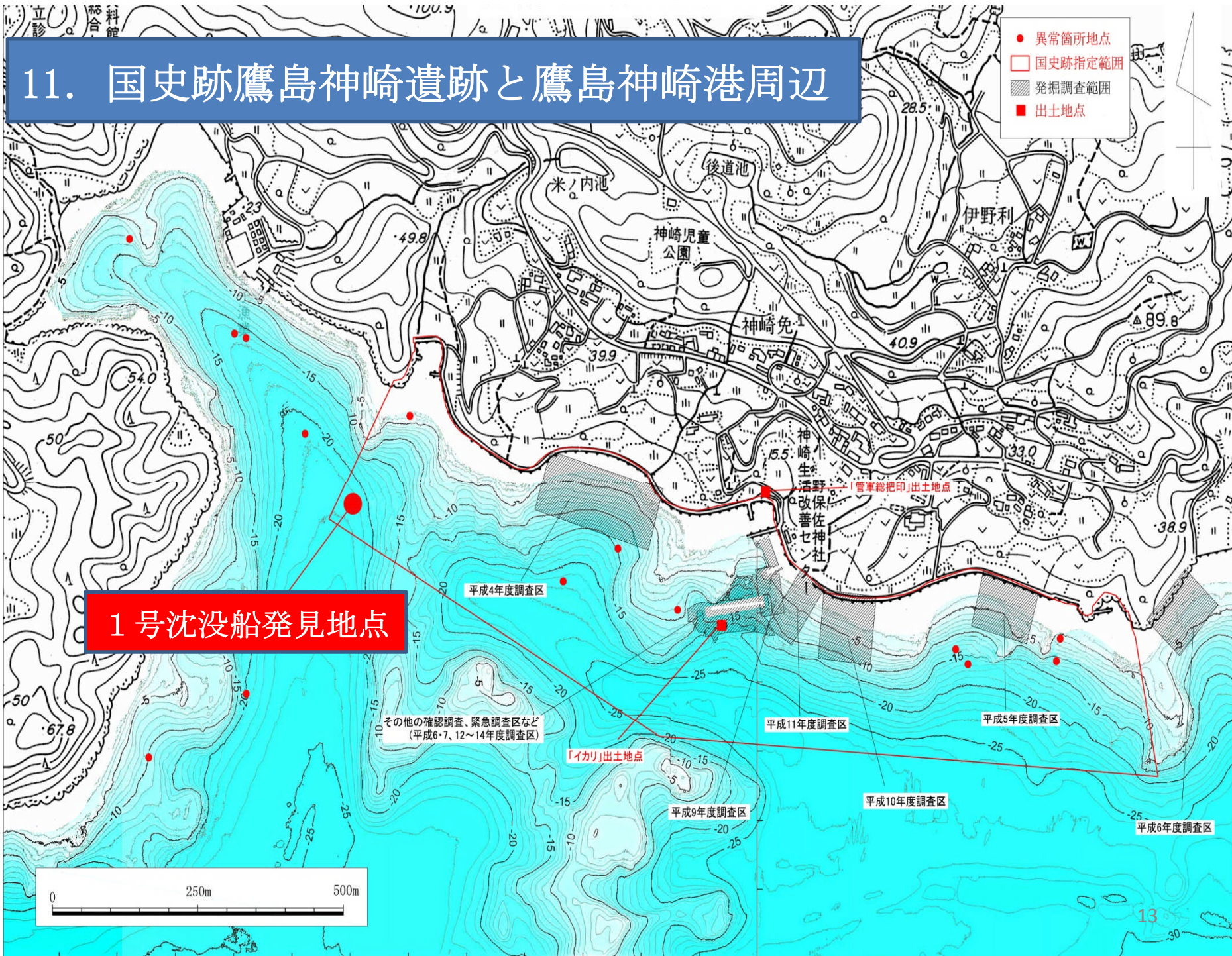
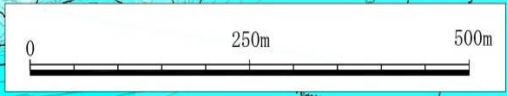
## 10. 鷹島海底遺跡の調査(科学研究費・松浦市)

- 平成17年度 「中世考古学の総合的研究」(研究代表者:前川要)の分担研究「中世東アジアの交流・交易システムに関する新研究戦略の開発/検討」による物理学的海底探査機器(超高分解能フォーカストマルチビーム測深システム及び高分解能地層探査装置)を用いた実験的海底地形・地質調査の実施
- 平成17～23年度 伊万里湾海底探査
- 平成18～22年度 「長崎県北松浦郡鷹島周辺海底に眠る元寇関連遺跡・遺物把握と解明」による新たな探査(精査)の実施と、既存出遺物の考古学的資料化作業と報告、物理探査成果を踏まえた水中考古学的調査手法の模索と海底試掘調査  
→ 平成22年秋、船材一部と磚の発見
- 平成23～27年度 「水中考古学手法による元寇沈船の調査と研究」による考古学的調査に着手  
→ 平成23年秋に元の軍船の一部を発見
- 平成24年度 国立大学法人琉球大学と長崎県松浦市との鷹島神崎崎遺跡に関する連携協定の締結
- 平成24年度 琉球大と松浦市で、6月と秋に国史跡内の沈没船確認調査
- 平成25年度 黒津浦にて異常反応点の調査で一石型碇石と碇の発見

# 11. 国史跡鷹島神崎遺跡と鷹島神崎港周辺

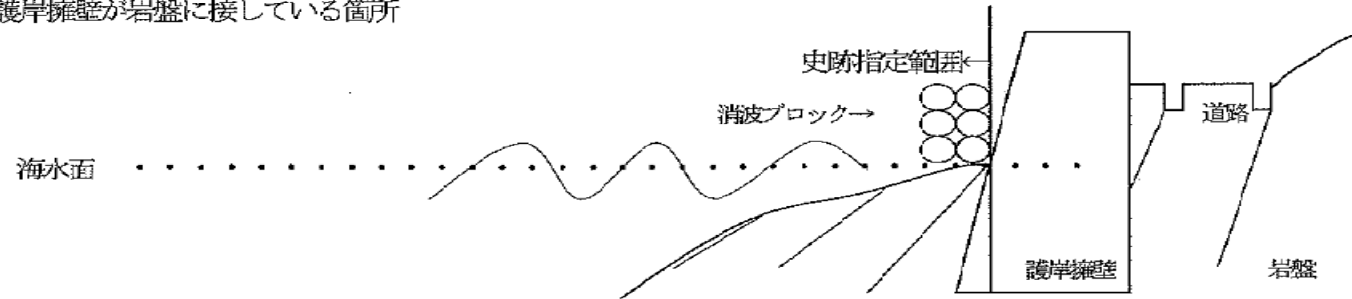
- 異常箇所地点
- 国史跡指定範囲
- ▨ 発掘調査範囲
- 出土地点

1号沈没船発見地点

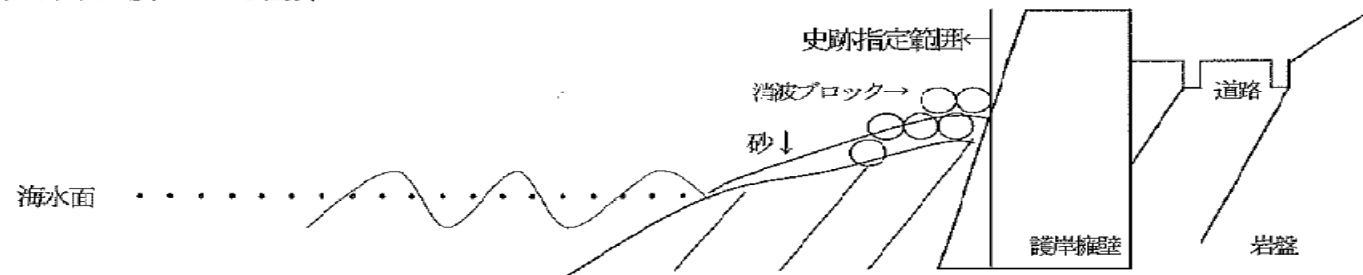


## 12. 史跡指定の範囲（海岸部）

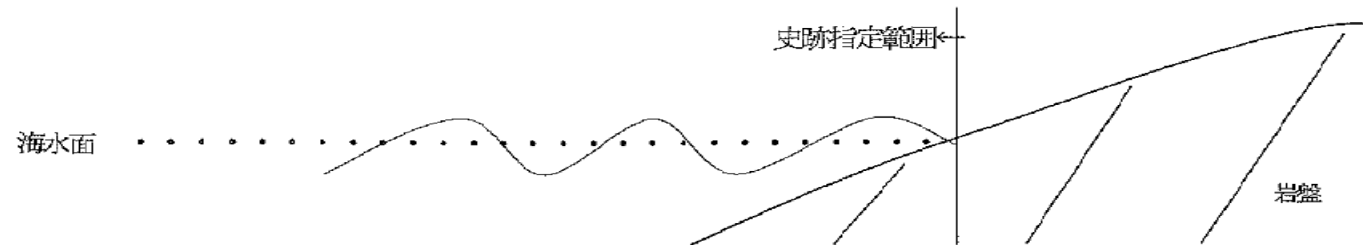
護岸擁壁が岩盤に接している箇所



常時砂浜に接している箇所



海に接している箇所



# 13. 鷹島海底遺跡出土遺物(床浪を除く)

- 陶磁器(約1,150点)
  - 磁器 . . . . . 龍泉窯系、福建省系、鈞窯系、高麗青磁
  - 陶器 . . . . . 壺、耳壺、水注、鉢、甕、高麗陶器
- 木製品(約740点)
  - 船材 . . . . . イカリ、隔壁板、板材、仏像、櫛、木栓
- 金属器(約650点)
  - 青銅製品 . . . . . 金具、装飾具、食器、飾金具、銅銭
  - 鉄製品 . . . . . 刀剣、鉄鏃、冑、矢束、釘、火打ち金
- 瓦・磚製品(約160点) . 磚
- 石製品(約50点) . . . 装飾品、硯、(鷹島型) 碇石、石弾
- 漆製品(約50点) . . . 椀、櫛、弓、小札、弩弓
- 土製品 . . . . . 「てつほう」、須恵器、土師器
- 骨角器 . . . . . 刀装具、解紐具
- その他 . . . . . 縄製品、竹製品、皮製品

など3,000点以上あり

# 14. 発掘調査(分布調査・確認調査)費用

## ①平成4～11年度までの町単独事業

総事業費・・・・・・・・約14,677千円

分布調査委託・・・・・・・・約11,200千円(九州・沖縄水中考古学協会)

その他・・・・・・・・約3,477千円

## ②平成10～25年度までの国庫補助事業

総事業費・・・・・・・・約206,450千円(国・県・地元負担)

確認調査委託・・・・・・・・約30,050千円(アジア水中考古学研究所)

海底探査委託・・・・・・・・約38,650千円(東海大学)

保存処理委託・・・・・・・・約33,040千円(元興寺文化財研究所等)

遺物実測委託・・・・・・・・約4,510千円(民間業者)

その他・・・・・・・・約100,200千円(賃金・旅費・原材料等)

①+②の合計・・・・・・・・約221,127千円

※昭和57年度・・・・・・・・鷹島歴史民俗資料館建設

平成5年度・・・・・・・・資料館内部改装工事

平成8・9年度・・・・・・・・鷹島埋蔵文化財センター建設

PEG含浸装置2基設置



# 15. 鷹島海底遺跡調査地点



## 16. 発掘調査(試掘・緊急調査)費用

### ①床浪港改修工事に伴う試掘・緊急調査(昭和58・63・元・4年度)

総事業費・・・・・・・・約103,651千円(長崎県委託)

民間調査委託・・・・・・・・約59,107千円

発掘調査団・・・・・・・・不明

その他・・・・・・・・不明

\*調査費1平方メートル単価・・・・14千円～61千円

### ②神崎港改修工事に伴う緊急調査(平成6・7・12～14年度)

総事業費・・・・・・・・約260,633千円(長崎県委託)

民間調査委託・・・・・・・・約202,634千円

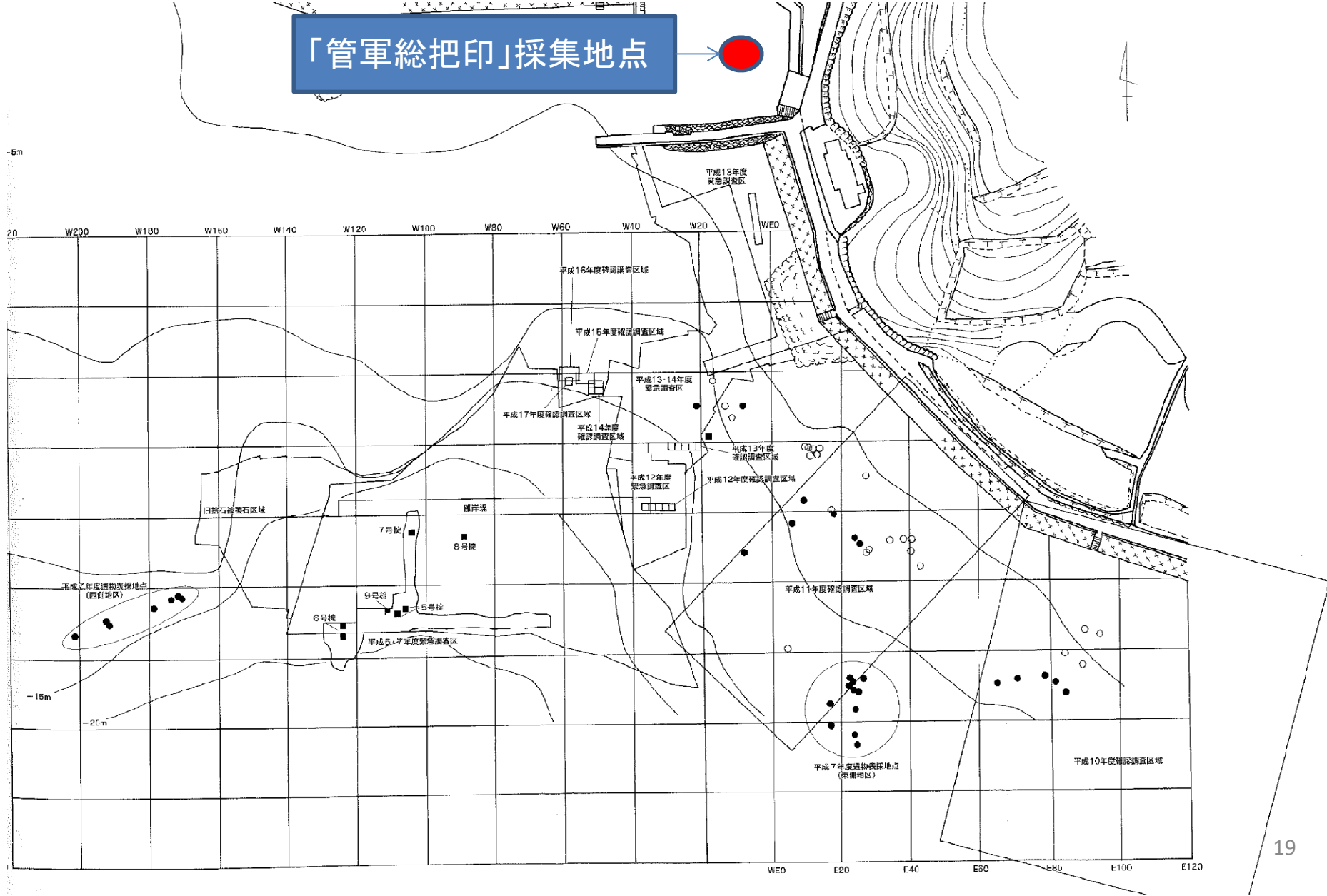
報告書作成委託・・・・・・・・2,415千円(13年度)

その他・・・・・・・・約55,584千円

\*調査費1平方メートル単価・・・・23千円～158千円

①+②の合計・・・・・・・・約364,284千円

# 17. 神崎港での確認調査・緊急調査



# 18. 鷹島海底遺跡に関する公開活用費用

- ①日本財団助成事業「海の日」記念講演会（平成17～19年度）  
総事業費（文化財保存支援機構主体）・・・・・・・・不明（4,000千円以上）
- ②日本財団助成事業鷹島海底遺跡出土遺物保存処理事業（平成17・18年度）  
総事業費（文化財保存支援機構主体）・・・・7,633千円
- ③文化庁 埋蔵文化財保存活用整備事業（平成20～21年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約23,003千円
- ④緊急雇用創出事業（平成21～25年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約11,322千円
- ⑤地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（平成21年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約12,846千円
- ⑥地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（平成22年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約5,327千円
- ⑦きめ細かな交付金事業（平成23年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約1,014千円
- ⑧自治総合センター助成事業（平成24年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約2,600千円
- ⑨市文化・スポーツ振興基金活用鷹島神崎遺跡展望所建設事業（平成24年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約13,864千円
- ⑩文化庁 鷹島神崎遺跡保存管理計画策定委員会事業（平成24・25年度）  
総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・約10,798千円

# 19. 鷹島海底遺跡と協力機関

文化庁

- ・ 国宝重要文化財等保存整備費
- ・ 埋蔵文化財公開活用事業費
- ・ 史跡等保存管理計画等策定費

↓ 指導・助言    ↑ 協力・支援依頼

長崎県

- ・ 長崎県教育文化振興費

↓ 指導・助言    ↑ 協力・支援依頼

松浦市

- ・ 鷹島海底遺跡調査指導委員会
- ・ 保存処理専門部会
- ・ 船舶専門部会
- ・ 鷹島神崎遺跡保存管理計画策定委員会

- ・ 琉球大学と松浦市との鷹島神崎遺跡に関する連携協定
- ・ 九州国立博物館・長崎県埋蔵文化財センター・琉球大学

## 鷹島海底遺跡保存活用方針

遺跡の価値を理解し、守ります  
軌跡を極め、伝えます  
遺跡の価値を活かし、招きます

## 20. 鷹島海底遺跡における今後の取り組み

- ①鷹島神崎遺跡保存管理計画書の具現化
- ②1号沈没船のモニタリング調査
- ③鷹島海底遺跡での継続的な分布調査と確認調査
- ④調査研究の推進と調査体制の拡充
- ⑤保存管理のための協働体制の構築
- ⑥博物館機能施設の整備